



参加者合計 14名：新婦人・学童・市議員・年金者組合・市職等

## 【自己紹介での主な内容】（悩み等を交えて）

- ★ 班が高齢、独居、病院に行けない。一人暮らしが不安等の問題がある。団地で援助をしていこうというボランティアを立ち上げようとしているところ。この先、安心して老後を迎えられるかが不安
- ★ 夫が亡くなり独居。娘は嫁いでいる。団地の5Fに住んでいる。先を考えると不安。
- ★ 初参加。どういう会なのか興味をもって参加した。
- ★ 20年振りの参加だったが、母親大会がまだ存続していることに驚いた。
- ★ 定年して10年経過した。年金を減らさせない為に地域の組合員と一緒に運動している。夫が病気で、一人になった時が心配。安心して暮らせるようにしたい。
- ★ 夫はいない。子ども達には面倒をみてもらえない。5月に足の手術をして、人工関節をいれている。障害4級、要支援1。
- ★ 生活保護の相談多い。子どもが大学に受かったが母子家庭。入学金が払えない。子どもの進学では、「両親が揃っていても、学校に行けない人もいる。」と冷たい言葉をかける市職員もいる。行政を考えていかなくはいけない。福祉の問題は大きい。
- ★ 長女63才、宮崎在住の頃は学校給食で、薪を1本持って行くと脱脂粉乳が貰えた。映画の券を売って母親大会に参加した頃からずっと参加している。
- ★ 現在70才。腰を痛めた。背骨が曲がっている。年と共に身体がきつくなってきた。
- ★ あちこち痛みあり、変形している。このところ、平和の事が母親大会で議論されなくなった。今一番大事な事、それは憲法9条だけは絶対に変えてはいけない。

## 【問題提起】

<助言者：松本氏>

日頃感じていて、若い職員と良く話をする事。それは、日本は経済大国なのに、何で、高齢者（今をつくってきた、日本を豊かにしてきた、民主主義を守って来た人達）が、こんな扱い（福祉の貧しさ等）を受けないといけないのか？

憲法25条:一人ひとりが健康で文化的な生活をするという権利は国が守らなければいけないのに財政危機を宣伝して、国の責任を放棄する事を見過ごして良いのか？

- ① 国と地方の借金 1,037 兆円、日本国民が持っていることになる。だが、国の金融資産は 1,073 兆円もあり財産の方が多。
- ② 貧困率 15%。生活保護は 1.6%しか受けていない。日本は非常に低い。
- ③ 消費税が 1997 年に 3%→5%になった。また健康保険も 10%→20%負担になった。その翌年から、自殺者が 3 万人に増加した等、現在の社会情勢の様々な問題点を話してくださった。

<助言者：早川氏>

年金が、24 年 10 月から制度改正された事の説明をしてくださった。

年金生活も 20 年前は、悠々自適だったが、今では、年々年金が切り下げられ、その上支給年令が引き上げられ、60 才→65 才→70 才へとどんどん変えられようとしている。

税金控除額の引き下げ、老人控除 50 万円カット、健康保険料引き上げ、天引き、預金金利 0 円...と取られっぱなしになっている。

女性が一人になっても、暮らせる年金を確保することが大事。現在、年間受給 50 万円未満が 30%、月 4 万 2 千円。

最低保障年金制度 8 万円を実現し、国費で負担しろ！と闘っている。

女性も年金に強くなって欲しい。退職、結婚、出産後のパート等男性よりも 10 倍位ライフワークが変化している。

消えた年金のおもしろい例として、南河寿江をどう読むか？（ナンコウスエ？）（ナンコウヒサエ？）正しくは（ナガワスエ）と読む。職員がフリガナを間違えていた為、調べたところ消えた年金が何年分も出て来て得したという事例もあった。

日本年金機構では、24 年 10 月から制度改正により、今までは 2 年しか遡れなかったのが、現在 10 年遡れる。不足分を支払うことで、受給権を得ることも可能になる。

国民年金は 70 才まで任意加入できるので、申請して欲しい。厚生年金はいつまでも加入できる。72 才の組合員が 3 号被保険手続きをして月 6 万 5 千円支給されるようになった。役所で抜けている事もあるので、きちんと調べた方が良い。女性は特に損をしている人が沢山いると思われるので、すぐに役立つ新情報を教えてください。

## 【質疑・応答】

Q： 10 年遡り手続き、川越まで行かなくても良いか？

A： 申込用紙、住民票、年金手帳、認め印を持ってどこの年金事務所に行っても良い。

： 担当の公務員が減らされ、1100 人→800 人に。低所得者から沢山搾り取り、大企業から取らないのが問題なのだ。

年金基金、貯めている。その貯め込みはなんと 170 兆円！1930 年には、350 兆円にするという。ため込む必要はない。年金制度を良くすべきだ。

Q：最低保障年金制度についてだが、今、年金を払わない人がいる。自分は貰っているが、高い年金を支払ってきたのだから当然。では、払わない人にはどこから財源が出せるのか？

A：国庫で負担する。払いたくても払えない人が圧倒的に多い。最低の暮らしをしていく為にも年金は必要。国は労働者と年金・生活保護で対立させて、大事なところは見せないようにしている。

大企業の儲けの為に雇用が変わった。その為に年金が払えない人もいる。きちんと雇用のしくみを変えて改善していくことで、支払えるようにして、安心して暮らせるようにしていく事が大事。

弱者同士をけんかさせるのではなく、払っていない人を責めるのではなく、助け合う事が大事。そういう人も安定すれば変わるのではないか？

Q：地下鉄開通による新道路建設問題で、署名運動をしたが、曖昧になっている。未だに回答なし。もう3~4年経過しているが未だに貫通していない。お知らせはどのように住民に届くのか

A：署名を取った方が報告するのが筋だと思う。

## 【討論】

★ 孫が自営業で健康保険未加入だった。そこで今貰っている祖母達の年金は皆が払っていると話したら5~6年後厚生年金や失業保険を保障している。助言する人がいれば若い人にも理解できる。

★ 隣の市でひどい事をやっている。それは、子ども医療費を1年間在住し市税完納でなければ保障しないという。税金が納められたかどうかを確認してから子ども医療費を保障するなどというのは、ひどすぎる。色々な事情だってある。社会保障は親に関係なく、子どもの命を守ることだ！

これは、志木市が始めて和光市がそれに追随したものです。

★ 新座で市長が力を入れている事は、地下鉄12号線をつくること。客を呼ぶ為に水族館、大学等を造っていく予定。何億もの財源が使われる。だが、今は保育園が足りない。特養は400人待ち。今、本当に必要な事に税金が使われていない。

★ 新座市長は立派な公約をした。癌検診無料化。医療費・高校まで無料。25年4月から実行すると回答がきた。黙っていないで色々な団体と手を組むと大きな力になる。実行できれば、埼玉県で一番！皆で手を結ぼう！全国に誇れる市になりたい！

★ 介護分野では、ヘルパーの介護時間カットが問題になっている。今までの介護時間は1時間だったが45分に短縮され、一緒に歩いて買い物に行くのが楽しみだったが今はヘルパーが自転車で買い物に行っている。楽しみだった会話の時間もとれなくなった。

★ 自助、共助、公助とあるが、24年度から地域で老人をみていこうと合理化された。

自宅、地域でみる事が果たして良いのか？忙しい介護できるのか？最期は家族に看取られてと言う事がどうなのか？

自助、共助でやっていきましょう。だから、介護施設は造りませんという事になりかねない。その背景に隠れている問題を、より深くみていかななくてはいけない。

## 【まとめ】

今回この分科会では、参加者の方々から色々な意見を聞くことができた。介護・健康 独居・老後等、展望が持てず、不安に思っている人が多い事がわかった。見通しを持った運動を、息長く、沢山のひとと手を組み団結して、大きな力にして行く事の大切さを痛感した。

また、助言者の松本氏、早川氏の両人から財政問題や年金の新制度等についての説明があり、参加者からはとても勉強になったという感想があった。時間の関係もあり深く議論するという所まではいかなかったが、学ぶことの多い分科会になったのではないかと思う。他、昨年度の要望事項②⑥についての追加事項を確認し合いまとめた。

以 上

### 申し合わせ事項

1. 心豊かで健康で安心して暮らせるために医療・介護保険・年金の充実が必要です。
2. 消費税に頼らない最低保障年金制度の確立を。
3. 消費税増税反対。特に生活費には課税しないでください。
4. 住み慣れた地域で暮らせる宅老所の設置も今後の課題として考えていきましょう
5. ひとりぼっちの高齢者を孤立させないよう近隣のひとたちとネットワークをひろげましょう。

### 要望事項

1. 後期高齢者医療制度の廃止を市が積極的に要望してください。
2. 介護保険の利用時間短縮は利用者にとって非常に不安です。利用者が利用しやすいよう市独自の給付を検討してください。
3. ヘルパーの労働時間と移動時間の保障をしてください。
4. 最低保障年金制度の確立と年金の引き下げをやめるよう国に要望してください。
5. 生活を脅かす消費税の増税反対の声を国に届けてください。
6. 国保料・介護保険料の値上げはしないでください。生活保護の扶養義務の強化と給付額1割削減ならびに医療費負担はやめてください。